

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025年2月28日

市川市長

団体名 サンシャインクラブ

（団体番号 66）

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	885,901円
(2) 補助対象経費総額	572,564円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	第44回サンシャインクラブ自然体験キャンプ
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 実施日程：令和5年8月9日～13日 実施場所：山梨県立八ヶ岳少年自然の家 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545 参加者：小中学生29名(内市川市22名)・保護者、スタッフ33名(内市川市民27名) 実施内容： ・今回利用したキャンプ場は、施設の的にも人材的にも整備されており安心してキャンプを実施することができた。自然の中で子ども達が力を合わせて生活するという大きな目標を達成することができた。 ・広大なキャンプでは、豊かな自然を体験することができた。 ・大学生が準備からかわり、八ヶ岳を舞台にしたドラマ(アクティビティ)を体験することができた。(八ヶ岳にまつわる伝説をテーマにしたお話を展開)
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・市内の保育所(さかえ保育園、風の谷こども園)ちらし配布、ポスター掲示 ・地元サッカークラブ保護者会への告知 ・ホームページでの告知(https://sscl1980.com/2024/06/29/第44回自然体験キャンプへ/) ※告知ページでは、往路の交通を電車としていますが、実際には、往路復路ともに観光バスを利用しました。(予定した参加人数よりも少なかったため) ・前回の参加者へ募集メールの発送
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・大学生スタッフが準備の段階から積極的に参加し(この大学生の多くが子どもたちのキャンプに参加しています)こどもたちの指導をしたことで、こどもたちも安心でき、大学生とともに成長できたと思います。 ・自然を十分体験できるキャンプを実施できました。八ヶ岳や富士山の大パノラマを見ながらのハイキングや満点の星空を見上げ始めて見る流れ星に感動。また、自分の身の回りの整理整頓だけでなくかまどを使って3食の食事をつくるなど、子ども達同士が協力して3泊4日を過ごすことができました。また、中学生は、1泊多く宿泊して小学生の受け入れのお手伝いをしました。 ・異なった学年が一つのチームとなり、協力して目的を達成する体験ができました。兄弟が少なくなってきた現代、年上のこどもが小さいこどもの面倒を見る機会や、様々な年齢のこどもが集まって遊ぶ機会が少なくなっています。今回も、大学生・高校生や高学年の子どもたちが年下の子ども達の面倒をみる機会を得ることができました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・指導者不足 今回のキャンプでは、多くの大学生が計画の段階から参加しキャンプを作り上げましたが、まだまだ異年齢の子ども達に対して野外活動を指導できる若いリーダーが不足しています。小学生からこの活動に関わり、大学生になってリーダーになるような私達が考える理想的な若者もいますが、大学生や若者に楽しく、そして、大切な活動だという情報提供や学生とのつながりが必要だと感じます。現在は、まったくのボランティア参加となっていますが、少しでも活動の謝金が出せるようになると学生も参加しやすくなるのかもしれない。 ・環境(キャンプ場)の減少 私たちが実施するキャンプができる場所が減っています。私立の施設は、オートキャンプ場が多くなり、教育キャンプができる場所は公営のものに限定されてきています。場所選びにかなりのコスト(時間、金額)が必要になっています。今回のキャンプも公立のキャンプ場でありとても良いキャンプ場ではあるのですが、どうしてもこのレベルのキャンプ場(自然体験ができる)は、遠距離にありバスを利用することになるのですが、バス料金も値上げがつついていてリーズナブルな参加費で多くの子ども達が参加できるような金額設定が難しくなっています。 ・今後の方向性 自然の中で活動することの必要性は、これからも不変のものと考えています。子どもたちが直接自然にふれ合う機会が大幅に減る中、今回のキャンプでは、仲間と一緒に自然にふれ合う体験を持つことができました。参加者や保護者からもこの活動の支援をいただいております。継続して活動できるように、充実した活動を計画していこうと考えています。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タ イ ト ル : キャンプ場内 (冒険ハイキングコース)

撮 影 年 月 日 : 2024年8月12日



タ イ ト ル : 閉村式記念写真 (営火場にて)

撮 影 年 月 日 : 2024年8月13日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：第44回サンシャインクラブ自然体験キャンプ

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	725,000	参加費（小学生20×26,000=520,000 6×20,000=120,000 中学生2×29,000=58,000 1×27,000=27,000）
寄附金収入		
補助金収入	150,000	
その他 （助成金等）		
会費充当	10,901	団体の本会計より充当
合 計	885,901	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
使用料 及び賃借料	510,160	510,160	バスレンタル料424,710 施設利用料85,450
交通費	57,038		資材運搬車 1台、伴奏車3台
消耗品費	27,654	27,654	文具・燃料・電池・キャンプ用品・水事業品
印刷製本費	4,241		文集用紙
保険料	34,750	34,750	小学生800円×26 中学生800円×3 ボランティア保険350円×33
食材費	130,076		小学生・スタッフ3拍4日分 中学生・スタッフ4拍5日分
会議費	27,550		
その他	94,432		医薬品代、プログラム費、下見、キャンプ打ち 上げ
合 計	885,901	572,564	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025 年 2月 27日

市川市長

団 体 名 いちかわ市民文化ネットワーク
(団体番号 70)
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1,404,465円
(2) 補助対象経費総額	300,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	チャレンジド・ミュージカル劇団JAMBO！創立10周年記念公演
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 チャレンジド・ミュージカル劇団JAMBO！創立10周年記念公演 「OPEN THE DOOR！～明日に向かって～」 会場 市川市文学ミュージアム グリーンスタジオ 日時 2025年2月9日(日) 11:00と15:00 出演者 劇団員41名 スタッフ・サポーター 50名 (総計91名 (内市川市70名)) 上演内容 第1章 劇団JAMBOの成り立ち ♪OPEN THE DOOR！ ♪子どもを見つめて 歌とダンス、親の気持ちを言葉で伝える 第2章 劇団員紹介 個性豊かなメンバーをひとりずつ紹介、自己アピール 青年たちによる「外郎売」 第3章 10周年記念「anniversary」 全員で10周年記念を祝う 第4章 みんなでボレロ ♪ボレロ15分間を身体表現を生かしたダンスを披露 全体を通じて、10年間の積み重ね、重み、軌跡を歌とダンス、言葉で観客の心に響かせる演出を目指した 観客動員 393名 (障がい者ほか133 一般260)
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	1、出演者募集チラシ10000枚を県内各所(障害者施設、支援学校)に配布。 2、プレスリリースを配布。東京新聞に掲載 3、当団体HPを始め、SNSを利用した宣伝に努めました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 1. 歌や音楽、ダンスに興味がある障がい児者たちへの経験場となり、チャレンジすることにより自己肯定感の獲得に繋がった。 2. 障害を抱える子どもたちにとって意欲を維持することが困難に思えたが、舞台に立つこと、演じることが大好きな子ども達は最後までやり切り、特に15分間のボレロは観客からの盛大な拍手のもと終えることができた。 障がいの有無にかかわらず、表現することの自由さと奥深さを伝えることができた。 3. 今後の舞台表現活動に光をもたらす公演となった。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 障害のある人もない人も、子どもも大人も、一緒になって稽古を重ねた体験は、大きな団結心に結びついたと思います。 この活動に参加し、体力と表現力そして観客の反響が高まり、自己肯定感と社会参加意欲の向上となることができた。 継続的に参加することが経験値を高め、本人たちの自信にも結びつくことができる。 今後も障がい児者の文化活動を県内各地の市民にぜひ鑑賞していただくためにも、多くの呼びかけ広く深く浸透させなくてはならないと実感した。 そして、継続させていくことこそが重要であり必要だと感じております。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : チャレンジド・ミュージカル劇団JAMBO! 創立10周年記念公演

撮影年月日 : 2025年2月9日(土) ♪ハクナマタタ



タイトル : チャレンジド・ミュージカル劇団JAMBO! 創立10周年記念公演

撮影年月日 : 2025年2月9日(土) 祭りシーン



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: チャレンジド・ミュージカル劇団JAMBO! 創立10周年記念公演

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	521500	一般241名×1500円=361500 子どもほか160名×1000=160000
寄附金収入	36000	個人協賛金
補助金収入	150000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	500000	日本芸術文化振興会
会費充当	196965	団体の本会計より充当
合 計	1404465	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	420000	0	外部講師等の招へい あり/なし 作曲・演奏 160000 ダンス振り付け 230000 ダンスアシスタント 30000
交通費			
消耗品費			
印刷製本費	90550		プログラム印刷 42290 チラシ印刷 25780 チケット印刷 2480 デザイン料 20000
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料	503980	300000	照明料 関企画 220000 音響料 (有)ふおるく 250000 会場代 グリーンスタジオ 33980
原材料費	389935		大道具 120000 小道具 120000 衣装 105000 Tシャツ代 44935
合 計	1404465	300000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025年3月31日

市川市長

団 体 名 いちかわ歩こう会
(団体番号 7 3)
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和 6年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	4 2 9 , 1 4 8 円
(2) 補助対象経費総額	3 0 0 , 0 0 0 円
(3) 補助金交付決定額	1 5 0 , 0 0 0 円
(4) 補助金交付概算払額	1 5 0 , 0 0 0 円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	健康づくりのための“ウォーキングの実践”
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ①本年度は26事業の計画に対して、計画通り26事業を実施することができた。参加者の高齢化を考え、10km未満のコース・10km以上のコースでは途中一次解散の設定等考慮して実施した。また距離の短縮ばかりではなく長距離のコースも2つ設定し幅広く多くの方楽しんで頂くことが出来た。 ②実績26事業での参加者は2,692名であった。天候の関係もあったが、前年(2,578名)に比べて若干増加した。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	①いちかわ歩こう会の月刊誌「エンジョイウオーク」の発行 ②ホームページ「いちかわ歩こう会トップページ」にて紹介 ③いちかわ歩こう会発行「例会案内(チラシ)」を各公民館等に設置 ④一般社団法人日本ウォーキング協会(JWA)発行「ウォーキングライフ」に掲載 ⑤NPO法人千葉県ウォーキング協会(CWA)発行「CWAニュース」に掲載。10月から「CWAニュース」と「松ぼっくり」を統合し「エンジョイウオーク」として発行
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ①いちかわ歩こう会によるウォーキングを実践することで、健康な身体づくりに役立ち、参加者相互の友好の輪を広げることができた。 ②会員及び一般市民の参加者を対象に、市内及び近郊で6km～27kmを複数のコースに分けて設定し、自発的に各コースを自由に歩けるコースを設定した。 ③事業の中に中距離と短距離のコースを設け、会員に距離を自由に選べるようにした。年齢やその日の体調により歩けると喜ばれている。 ④広報誌(会報、例会案内チラシ)を例会で参加者に配布。欠席した会員には会報誌等を送付し、会員と密接な連携が図れるようにしている。 ⑤2024年度は例会等を26回実施し、2,692名の参加があった。コロナ禍前に戻りつつある。 ⑥例年、事業計画に基づく例会(ウォーキング)に参加した会員に対し、年間完歩賞の表彰制度を実施することで、会員の積極的な参加を図った。 ⑦コロナ禍が衰退したとは言え、当会の参加者は高齢者も多くまだ油断はできない。三密にならない様十分注意した。 ⑧市川市を中心に近隣の地区(船橋市・鎌ヶ谷市・松戸市等千葉県内及び東京地区)でコースを設定し実施している。今後も継続して実施予定である。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ①2024年度は、コロナ禍が減衰をみせ、年間事業は計画通り26回実施できた。それに伴い、参加費等の収入も回復傾向を示し、健全な会の事業運営が出来るような状況になってきた。だが、近年会員の高齢化により、やむなく退会される会員も多くなり、収入に影響を与え始めている。この中で、当補助金は事業運営に多大な援助となっている。 ②多額の経費を必要とする、交通費(例会等出席の役員交通費)及び通信運搬費(事業不参加の会員への会報誌送付・連絡)に関しては、極力浪費を避け、節約を実行し、経費の削減化に努めている。 ③参加者に更に楽しく歩いて頂くため、事業内容(コース、距離等)を考えるとともに、歴史的資源(神社仏閣・その土地の遺跡)の簡単な口頭解説を加えるとともにコースガイドを作成している。参加者からは大変好評を得ている。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ディズニーリゾート界限

撮影年月日 : 2024年4月23日



タイトル : 水元公園の菖蒲園観賞

撮影年月日 : 2024年6月15日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：「健康づくりのための“ウォーキングの実践”」

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	279,148	例会参加費 2,692名分
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当		団体の本会計より充当
合 計	429,148	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい あり／なし
交通費	186,129	130,000	例会等出席役員の交通費
消耗品費	50,557	30,000	封筒代・PCインク代・コピー用紙代等
印刷製本費	23,540	10,000	地図・名所説明・会報等印刷代
通信運搬費	104,762	80,000	会報・チラシ等発送費用
保険料	64,160	50,000	会員及び例会参加者の傷害保険代
使用料及び賃借料			
原材料費			
合 計	429,148	300,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 3月 11日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会

（団体番号 75 ）

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	52,104円
(2) 補助対象経費総額	48,440円
(3) 補助金交付決定額	24,220円
(4) 補助金交付概算払額	24,220円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	ユネスコ市民公開講座
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 第18回ユネスコ市民公開講座 SDGsの学び⑥を 2025年3月1日14:00～16:00全日警ホール会議室で講師に市参与千葉商科大学サイエンスアデミー特別客員准教授[REDACTED]を招聘し「深刻化する気象変動に市民が取り組めること」を講演。資料配布(別紙) 会場参加者30名市内26名。市外4名。 参加者にアンケートを実施(別紙)
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	当協会HP掲載。2/15 広報に掲載。 市民公開講座のリピーターにメールか郵便で通知。開催3ヶ月前よりチラシを全日警ホールに掲示。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	“補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 2021年ゴードマン環境賞受賞講師を招聘でき、持続可能な社会の実現のため市民が何ができるかを具体的に講演頂けました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによってどのような課題を把握し及び当該課題を解決するための改善策を講じたのか記載してください 全日警ホールのようなWiFiが使える公共施設が少なく、Onlineでの会議講演ができるとより広く一般市民の方にご参加が頂けると思う。次年度のユネスコ市民公開講座も引き続きSDGsについて講演を予定している。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

2025/3 1 第18回ユネスコ市民公開講座



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：ユネスコ市民公開講座

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	24220	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	27884	団体の本会計より充当
補助金返金		
合 計	52104	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	20000	20000	外部講師等の招へい あり
交通費	5800	5000	当日スタッフ7名
消耗品費	15034	15000	インク、コピー用紙
印刷製本費	440	440	資料印刷代
通信運搬費	9120	8000	前回参加者にチラシ郵送、希望者に資料郵送
保険料			
使用料及び賃借料	1710	0	
原材料費			
合 計	52104	48440	

※ 領収書（原本）を添付してください。